

パルシステム生産者・消費者協議会

2016年度 第15回 女性生産者交流会 報告

生消協事務局

- ・2016年8月29日に電設年金会館（東京都新宿区）にて第15回女性生産者交流会を開催しました。
- ・台風10号が接近するなか、参加生産者のキャンセルもありましたが、23産地50名の女性生産者と株式会社ジーピーエス職員4名、㈱パル・ミート職員1名、パルシステム連合会職員4名、消費者幹事9名、生消協事務局3名の合計71名が参加しました。
- ・本交流会は、消費者幹事を実行委員として毎月開催される消費者運営委員会にて準備を進めました。隔年で産地開催と東京開催を行っており、昨年度はJAみどりの（宮城県）で開催しました。
- ・午前中は大津代表幹事の挨拶、白川パルシステム連合会副理事長の挨拶の後に、熊本震災報告（生消協カンパ）を行い、その後、2015年度開催報告（杉本消費者幹事）、次年度受入産地紹介（やさか共同農場・佐藤氏）を行いました。
- ・午後は、株式会社ジーピーエスの工藤本部長より、講演「商品が組合員の家に届くまで」、「品質管理について」を行い、その後、グループワーク（フリートーク）を行いました。
- ・グループワーク報告では、女性の目から見た産地の現状（作業の苦勞）、夫婦での作業分担の課題、外国人研修生とのコミュニケーションの問題、高齢でも農地面積拡大に取り組む男性（「畑を広げることが男のロマン」）についての意見など、女性ならではの意見が出されました。
- ・最後のまとめを梅原副代表幹事より行い、会員生協別の交流会へと移動しました。



グループワークの様子



集合写真